



岩手日日新聞社

一関市南新町 60  
郵便番号 021-8686

編 集 局	0191 (26) 4204
営 業 局	0191 (26) 5111
販 売 局	0191 (26) 5112
総 務 局	0191 (26) 5114
-----	
盛 岡 支 社	019 (654) 7730
東 京 支 社	03 (3573) 1335
仙 台 支 社	022 (267) 2253
平 泉 支 局	0191 (46) 5104
千 厩 支 局	0191 (53) 2233

©岩手日日新聞社

## 映画「一遍上人」

# 住民参加し 生き生き演技

▼▼一関・藤沢で撮影

5月に公開予定の映画「一遍上人」の撮影が9日、一関市藤沢町保呂羽字宇和田の長徳寺(渋谷真之住職)周辺で行われた。町民有志らがエキストラとして参加し、雪景色の中で生き生きと演技して作品を盛り上げた。

撮影は同寺麓の坂道で行われ、子供からお年寄りまで町民有志、近隣寺院の僧侶ら30人ほどが参加。和服に草履やみの、編みがさなどを身に着けて村人に扮し、秋原北胤監督の演技指導を受けて数回練習後、本番に臨んだ。

水点下の中、薄着で寒風に吹かれながら積雪の上を歩く過酷な撮影となったが、時折笑い声の上がる和気あいあいとした雰囲気の中で撮影は進み、1時間ほどで終了した。

一遍上人は鎌倉時代の僧侶で、時宗の開祖として知られる。現在の愛媛県出身で全国を行脚し、踊りながら念仏を唱える「踊り念仏」を広めた。映画は、山形県出身のお笑い芸人・ウド鈴木さんが主演。一遍が妻や娘、弟子を引き連れて各地を遊行する間に踊り念仏を開発し、教えを広めて京都で大成を収めるまでの半生が描かれる。撮影は全国各地で行われ、同日が最終日だった。

ロケ地候補に名乗り出て、自ら出演した渋谷住職は「この辺りで映画のロケが行われるのは珍しく、貴重な機会。一関市と藤沢町の合併記念になれば」と期待していた。

秋原監督によると、一遍上人の祖父の墓が奥州市江刺区にあることから岩手県南での撮影を望んでいたが、時宗派の寺院のうち、雪深いシーンを撮影できる場所として長徳寺が最適だったという。

秋原監督は「雪に慣れている地元の方に出たたくと、全然感じが違う。ここで撮影できて良かった」と喜び、「一関の皆さんに、地元で撮った映画をぜひ地元で見してほしい」と話していた。

本県では同市磐井町の一関シネプラザで5月19日から上映予定。同20日には秋原監督らによる舞台あいさつが行われる。



撮影終了後、秋原監督（左から3人目）やキャストと記念撮影する藤沢町民有志ら